

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 11 月 21 日 (2019.11.21)

【公表番号】特表 2019-500798 (P2019-500798A)

【公表日】平成 31 年 1 月 10 日 (2019.1.10)

【年通号数】公開・登録公報 2019-001

【出願番号】特願 2018-532423 (P2018-532423)

【国際特許分類】

H 0 4 L 9/08 (2006.01)

H 0 4 L 9/32 (2006.01)

G 0 9 C 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 21/60 (2013.01)

【F I】

H 0 4 L 9/00 6 0 1 B

H 0 4 L 9/00 6 0 1 E

H 0 4 L 9/00 6 7 5 A

G 0 9 C 1/00 6 4 0 D

G 0 6 F 21/60 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 8 日 (2019.10.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電子エンティティ (2) がデータ (D i ; D A T A S E N D) を受信する方法であって、

第 1 の暗号キー (S K - E N C) を用いた暗号化によってセキュアされた第 1 のセキュアチャネルを、前記電子エンティティ (2) と外部電子機器との間に確立するステップ (E 2、E 4、E 6、E 8、E 10) と、

前記第 1 のセキュアチャネルを介して、第 1 のコマンド (C H M) を受信するステップ (E 14) と、

前記第 1 のセキュアチャネルを介して、少なくとも一つの第 2 の暗号キー (B K - E N C) を受信するステップと、

前記第 1 のコマンド (C H M) を実行することにより、前記第 2 の暗号キー (B K - E N C) を用いた暗号化によってセキュアされた第 2 のセキュアチャネルを設定するステップ (E 20) と、

前記第 2 のセキュアチャネルにおいて前記データ (D i ; D A T A S E N D) を受信するステップ (E 22) と、を有する、ことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記第 1 のコマンドを受信するステップの後で、前記第 2 のセキュアチャネルを設定するステップの前に、前記電子エンティティ (2) のメモリ (8) の中に前記第 1 の暗号キー (S K - E N C) をセーブするステップ (E 18) を有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記データおよび第 2 のコマンド (C H M) を受信するステップの後、前記第 1 のセキュアチャネルへ変更するステップ (E 30) を有する、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記データおよび第 2 のコマンド (C H M) を受信するステップの後、前記第 1 のセキュアチャンネルへ変更するステップ (E 3 0) を有し、

前記変更するステップは、前記メモリ (8) の中にセーブされた前記第 1 の暗号キーを読み取るサブステップを有する、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 5】

前記変更するステップの後、前記第 1 のセキュアチャンネルに関するリストアデータを無効化するステップを有する、請求項 3 または 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記変更するステップの後、前記第 1 のセキュアチャンネルにおいて認証コマンドを待機するステップを有する、請求項 3 ~ 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 のセキュアチャンネルにおいて完全性検証コード (M A C) を検査するステップを有する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記第 1 の暗号キー (S K - E N C) は、前記電子エンティティ (2) の中に記憶される静的キー (K) から導出されるセッションキーである、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記第 2 の暗号キー (B K - E N C) は、他の電子エンティティによって確立されたセキュアチャンネルを暗号化するのに用いられるブロードキャストキーである、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

前記データ (D A T A S E N D) は、前記電子エンティティ (2) のオペレーティングシステムの一部、または前記電子エンティティによって後で用いられることができるアプリケーションもしくはデータの少なくとも一部を表す、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

前記受信されたデータは、前記電子エンティティ (2) の不揮発性メモリ (6) の中に記憶される、請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

前記電子エンティティは、セキュアエレメント (2) である、請求項 1 ~ 11 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

前記外部電子機器は、携帯端末、エネルギー供給メータ、接続されたオブジェクトまたは携帯オブジェクトである、請求項 1 ~ 12 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 14】

第 1 の暗号キー (S K - E N C) を用いた暗号化によってセキュアされた第 1 のセキュアチャンネルを、電子エンティティと外部電子機器との間に確立するモジュールと、

前記第 1 のセキュアチャンネルを介して、第 1 のコマンド (C H M) および第 2 の暗号キー (B K - E N C) を受信するモジュールと、

前記第 1 のコマンド (C H M) を実行することにより、前記第 2 の暗号キー (B K - E N C) を用いた暗号化によってセキュアされた第 2 のセキュアチャンネルを設定するモジュールと、

前記第 2 のセキュアチャンネルにおいてデータ (D i ; D A T A S E N D) を受信するモジュールと、を有する、ことを特徴とする電子エンティティ (2) 。